

# TOSHIBA

シェアレポ簡易版

## 導入事例 Vol.3



ただ電子化するだけではなく、さらに使いやすく、  
現場の方々と帳票をブラッシュアップしています

株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント 設備管理部 部長 佐々木 勝義 様

### 株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント 設備管理部

サンシャインシティをはじめとするビルや施設における、電気・空調・機械などの設備管理から、修繕工事の計画・管理、清掃や廃棄物処理、植木の手入れなどの環境衛生管理まで、多岐にわたる管理業務を通して、ビルマネジメントに取り組んでいます。設備管理部が元請となり、専門的な業務を中心に外部企業をパートナー（協力会社）として共同で管理を進行。各種法令点検に加え、独自の高い技術基準に基づいた、ビルの電気設備・空調設備・給排水設備などの運用・点検・整備を行い、ビル、施設の「安全」「安心」「快適」の実現を目指しています。

#### 導入の背景

点検箇所や作業時間の増加、増え続ける点検書類の保管スペース、人員不足、働き方改革への取り組みなどの課題を解決するため、作業時間の短縮や業務負荷の軽減、ペーパーレス化や情報の共有化が求められていた。最も重視したのは、実際に現場で使う協力会社の方々に新しく導入するツールをストレスなく使ってもらうこと。現場にはさまざまな年代の人がいるため、今ある点検表の書式をなるべく変えることなく、手軽に導入できるツールがないかを探していた。

#### 従来からの課題

- 課題1 設備管理する対象箇所が多いので、現場の作業効率化を図りたい。
- 課題2 膨大な数に及ぶ点検表のペーパーレス化を進めたい。
- 課題3 管理側が現場とシンクロして、常に進捗状況を把握したい。

設備管理部 部長  
佐々木 勝義 様

設備管理部  
柿山 昂佑 様

## 設備点検の効率化を通じて、 サンシャインシティの 安全・安心・快適な 環境づくりを支えています。

導入企業プロフィール **株式会社サンシャインシティ・ビルマネジメント様** <http://www.ssc-bm.co.jp>

1978年創業。ビルディングの設備運転管理、環境衛生管理、管繕工事などを行う企業様です。主に地上60階・地下4階のサンシャイン60を含む業務施設、商業施設、アミューズメント施設、文化施設、公共公益施設、ホテルなどの複合施設で構成されるサンシャインシティの建物を管理。高度な技術力と徹底した管理システムを通して、「安全」「安心」「快適」な環境の実現を目指されています。

本社所在地／東京都豊島区東池袋3-1-3 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル9F  
資本金／40,000,000円 従業員数／68名 事業内容／ビルメンテナンス業務

### 1 「Sharepo」導入のきっかけ

### リアルタイムに現場から報告ができ、 すぐに情報が共有できること

今までは協業会社が紙に書いて報告した内容を、実際に現場に行き確認していたため、手間と時間がかかっていました。改善策としてデジタルカメラで写真を残してみましたが、事務所へカメラ本体を持って帰らないと確認ができないためリアルタイムでの把握はできません。現場は頑張ってくれていましたが、管理側は現場の情報をいち早く知ることができなかった状況もあり、ITを活用してこの課題を解決したいと思っていました。シェアレポは点検が終わって情報をアップすれば、すぐに事務所で関係者全員が情報共有できるため、管理側の課題を解決してくれる良いサービスだと実感しました。

### 2 導入における一番の決め手

### 他社のツールとくらべた結果、 “現場での使いやすさ”が導入の決め手

協業会社に現場点検をお任せする中で、問題だったのが点検箇所が多すぎです。点検表も膨大な数で、以前は全部紙で処理して時間も労力も要していたため、業務の効率化やペーパーレス化が課題でした。導入の最優先ポイントは、実際にサンシャインシティの現場で点検している方々にとって、どれだけ使いやすかということでした。年齢も経験もさまざまな皆さんの賛同を得たいので、基本的には使い慣れた点検表のスタイルは変えたくありません。他社メーカーさんのツールとも比較しましたが、シェアレポは表計算ソフト(Excel)がそのまま電子帳票に変換できるため、システム化に戸惑うことなく操作できたことが導入の決め手となりました。

採用  
POINT  
1

#### 現在使用している紙の帳票もカンタンに 電子化が可能

Excelと帳票定義作成ツールにより、現在使用している紙の帳票をカンタンに電子化できます。電子化することにより、ペーパーレス化を実現し、使いやすさを格段に向上させます。



STEP1  
Excelと帳票定義作成ツールで  
帳票定義を設定

STEP2  
クラウドサーバーにアップロード

### 3 管理側の業務における貢献度

進捗状況をすぐ確認できるのは大きなメリットですが、他の機能も業務の最適化や作業時間の短縮に貢献しています。例えばラベル(タグ付け)機能は、知りたい過去のデータがすぐに検索できるので非常に便利です。紙の時代は、いちいち事務所に戻って探していました。今では日報などもすべて電子化したため、印刷して保管する必要もありません。点検結果の傾向が見える化し、分析することで業務改善にも有効活用できます。また、承認依頼機能は現場で書類作成が完了し、帳票も電子承認できるので、作業時間の大幅な短縮に貢献しています。点検箇所の多さから、シェアレポの導入効果は予想以上ですね。

### 管理側と現場側間での情報の共有がスムーズなことが魅力

採用  
POINT  
2

#### ラベル(タグ付け)機能による検索性向上

点検表ごとにラベル(タグ付け)を設定できるため、過去の点検表の検索性向上に寄与。



採用  
POINT  
3

#### 承認依頼機能による進捗確認



現場からの帳票の承認依頼はリアルタイムで、管理側にメールで行えるため、進捗確認および時間短縮に貢献。

### 4 現場での反応や使い勝手

サンシャインシティは電気室だけで47室、空調機だけでも400台を超え、その他にも設備が多数存在しています。設備の点検表に至っては1,500~2,000枚にも及びます。現場での点検結果入力・保存、帳票の自動作成、作業の進捗や結果の確認などの機能はもちろん、施設の規模や内容に応じた書式のカスタマイズも必要となりますが、シェアレポなら簡単な操作で変更が可能です。現在は基本の点検表の書式フォーマットをベースに、協力会社ごとに帳票をカスタマイズし、創意工夫を重ねてさらに現場が使いやすいようブラッシュアップしています。適用範囲も日々広がっており、当社のビルマネジメントにおいてシェアレポは不可欠な存在となっています。

### 対象施設や点検内容に応じてさらに使いやすくカスタマイズが可能

採用  
POINT  
4

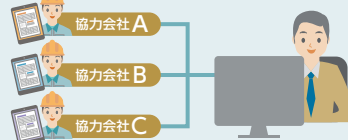
#### カスタマイズも容易なので、各協力会社が使いやすい帳票に

既存の点検表の書式をベースに、各協力会社が使いやすいように点検項目の追加などのカスタマイズが容易に行え、点検表のブラッシュアップが可能。



採用  
POINT  
5

#### 管理者権限による業務の効率化



各協力会社の責任者ごとに管理・業務範囲を権限設定しているため、管理業務の効率化を実現。

### 5 管理側としての今後の活用展開

### ニーズに合った機能を随時追加し、着々と“現場力”を高め一緒に進化する

私たちは、設備を直接チェックする現場の方々の力がとても大切であると思っています。その点、シェアレポはさまざまな設備の運用・点検・整備を助け、“現場力”をさらに高めてくれる良き相棒です。ミス未然に防ぐチェック機能、点検時にタイムリーな情報をその都度閲覧できる機能など、自分たちのアイデアを生かして、一緒に進化できるツールとして評価しています。

設備点検のツールは、単なる人員削減を推進するものではなく、いかに活用して現場業務の質を高めるかが鍵だと思います。今後使い方を広げ、点検結果や故障履歴の分析を行うことで、予防保全につなげることができると期待しています。

## 導入効果

1

膨大な数の点検箇所や点検項目の結果をリアルタイムに確認することが可能に

2

点検表の電子化により作業進捗や結果の共有化を実現し、過去の履歴の検索性も向上

3

各協力会社のノウハウと共に点検表をカスタマイズすることで業務の効率化を実現

# Sharepo™ 簡易版の導入イメージ

## 点検表のデジタル化により現場と本社をつなぎ、 ストレスなく効率的な報告業務を実現！

### サービス構成イメージ

Sharepoヘルプデスク



インターネット

東芝クラウドサーバー



当社指定通信キャリア回線ネットワーク

お客様社内ネットワーク

※当社タブレットレンタルの場合

お客様の使用環境



現場側

帳票管理システム (iR i-Reporterアプリ)  
帳票の電子化、帳票の入力、入力データの管理、  
電子承認



タブレット端末  
(iPad)

ダウンロード

結果入力



管理側

社内のPC(WindowsPC)  
【インターネットWeb利用環境】

管理者

iR: ライセンス

### 弊社パートナー営業の声



相原電気計器株式会社  
代表取締役  
山下 裕之 様



東芝テック株式会社 東京支社  
オフィスソリューション第二営業部  
第一担当 根本 有己 様

### シェアレポ導入を おすすめした理由

日常点検において電子化を進めたいということからシェアレポをご提案させていただきました。オンライン時はもちろん、タブレットでも使用可能な点、そして、クラウドというご要望にも合致。これからは作業効率の向上から、サンシャインシティ・ビルマネジメント様の業務に大きく貢献するものと確信しております。

### 営業担当の声



東芝インフラシステムズ株式会社  
ビルDX推進部 営業担当  
参事 美里 道孝

### 大型複合施設の多様な設備点検 作業でシェアレポは独自の問題 解決力を発揮します。

今回ご紹介するお客様は、東京・池袋地区にある大型複合施設の設備機器点検業務の効率化へ向け、システム導入を検討されておりました。まずは帳票の電子化から始め、点検データを蓄積。将来はクラウド内のデータを分析して、設備機器の予防保全に繋げたいというご要望からシェアレポをお勧めしました。今後も、お客様と一緒に設備管理における課題を共有・解決していきたいと考えています。

東芝のシェアレポは、タブレットや当社独自のICT技術を活用することで、点検・検針作業のデジタル化を実現します。現場作業員の負担や検針時の入力ミス、トラブル対応などを低減します。また、蓄積されたデータは、お客様の企業競争力の強化に寄与します。

詳細情報はSharepoホームページへ <https://www.toshiba.co.jp/cs/sharepo/>

シェアレポ

検索



・本サービスは、一定の作業効率化等の達成を保證するものではありません。  
・本資料に掲載内容は、技術の進歩などにより予告なしに変更されることがあります。  
・本資料に掲載している技術情報は、製品およびサービスの代表的動作・応用を説明するためのもので、その使用に際して当社および第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。  
・本資料に掲載されている製品およびサービスを、国内外の法令、規則および命令により製造、販売を禁止されている応用製品に使用することはできません。  
・お客様の組織名、役職はインタビュー当時のものです。

・本資料に掲載されている製品およびサービスの使用または、使用不能により生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない)に関して当社は一切の責任を負いかねます。  
・Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標および商標です。  
・iPad、iOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。  
・ConMas i-Reporterは、株式会社シムトップスの登録商標です。

東芝インフラシステムズ株式会社

事業開発センター ビルDX推進部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34(ラゾーナ川崎東芝ビル) Tel 044-331-0706

2019年5月現在のものです。

2019-5(0)